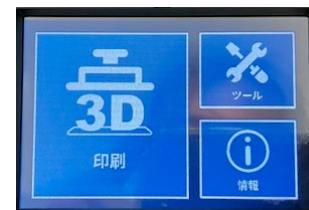



日常のメンテナンス

Mega 8KV2

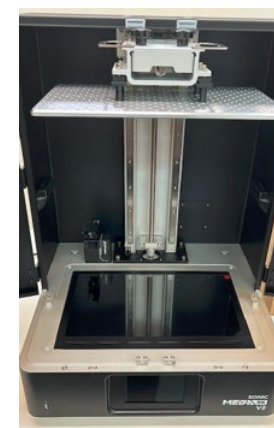
- ▶ Z軸の清掃-グリスアップ
- ▶ レジンバットの清掃
- ▶ LCDパネルの清掃
- ▶ 本体カバーの清掃

▶ “ツール” > “Z軸制御”に入ります。

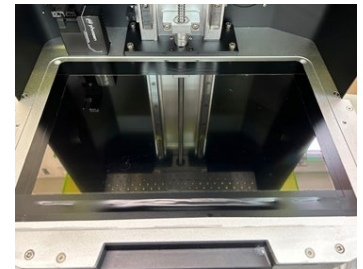
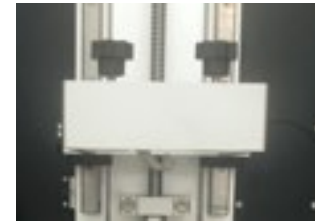


▶ “”を押して、Z軸を一番上まで上昇させます。

※ 動かない場合、一度“”を押してホームポジションへ移動してください。



- ▶ 「ビルドプレート」、「レジンバット」を取り外します。



- ▶ パーツクリーナー（防さび剤等が含まれていないもの）等を染みこませた布でZ軸のレール、シャフトを清掃します。



（推奨パーツクリーナー：WD40）

- ※ この際、Z軸を少しずつ上下させ、レール・軸受け内に残るグリスも出来るだけしっかり清掃します。



- ▶ Z軸レール、シャフトにグリスを塗布します。
 (推奨グリス：レール/NSK製AS2、シャフト/NSK製LR3)
 - ※ この際、Z軸を少しずつ上下させ、レール・軸受け内にも出来るだけしっかりグリスを浸透させます。

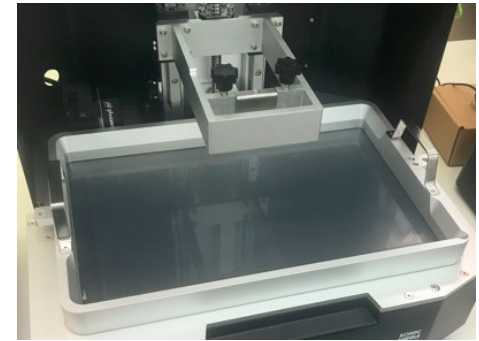


- ▶ “  ”、“  ”を押して、Z軸を上下させグリスを馴染ませます。

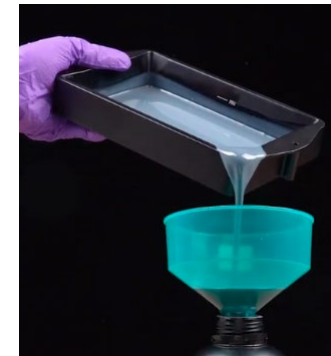


- ▶ 取り外していた「ビルドプレート」、「レジンバット」を取り付けます。

- ▶ “レジンバット”を取り外します。
 - ※ レジンをこぼさない様注意してください。



- ▶ 茶こしなどでレジンバット内のレジンを濾しつつ回収します。
 - ※ 回収したレジン は再利用可能です。
 - ※ 回収時にレジン内にカスが残っていると次回造形時に造形不良の元になります。

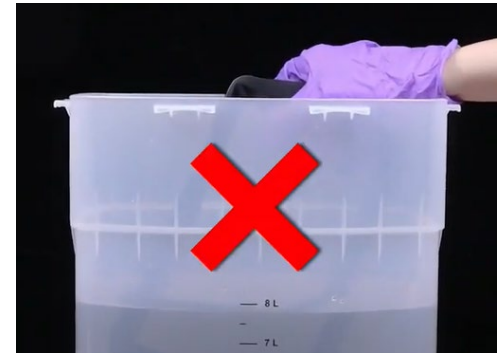


▶ “レジambat”をアルコール等洗浄液にて清掃します。

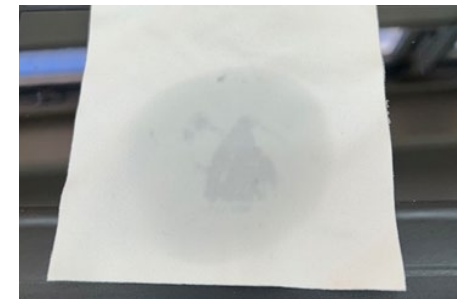
- ※ 擦らない様に注意してください。
- ※ 水気を吸い取る様に清掃してください。



※ レジambatをアルコール等洗浄液に漬け込むのはNGです。（ネジのサビ付き等重大な問題を誘発する可能性があります。）

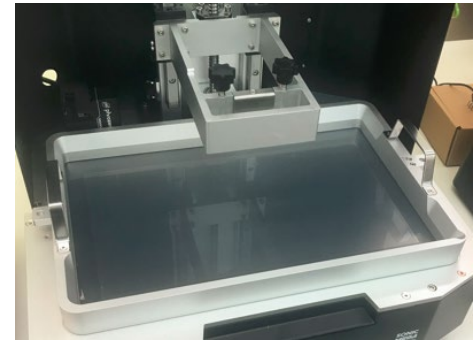


※ 汚れが強い場合、アルコールを染みこませたキッチンペーパーを被せ、しばらく放置します。汚れを溶解し、吸い取る様にして除去してください。

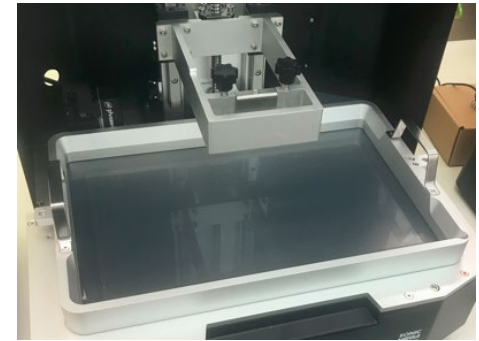


- ▶ “レジンバット”の状態を目視で確認します。
 - ※ “フィルム”に傷、穿孔等の異常がないことを確認してください。
 - ※ “フィルム”に異常が見られる場合は交換してください。

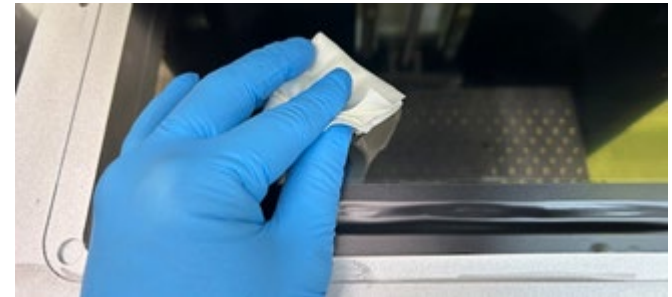
- ▶ 清掃が完了したら、“レジンバット”を機器に取り付けます。
 - ※ 固定ねじはしっかりと締めてください。



- ▶ “レジンバット”を取り外します。
 - ※ レジンをこぼさない様注意してください。



- ▶ LCDパネル表面を擦らない様に注意してアルコール等で清掃します。



- ※ LCDパネル表面にてレジンが固まってしまっている場合、アルコールを染みこませたキッチンペーパーを被せ、しばらく放置します。塊が溶けたら、吸い取る様にレジンを除去してください。



- ▶ “LCDパネル”表面に傷、汚れ等が無いことを確認します。

- ※ 拭き跡が残らない様に注意してください。



- ▶ “LCDパネル”の清掃が完了したら、“レジンバット”を取り付けます。

- ※ レジンをこぼさない様注意してください。

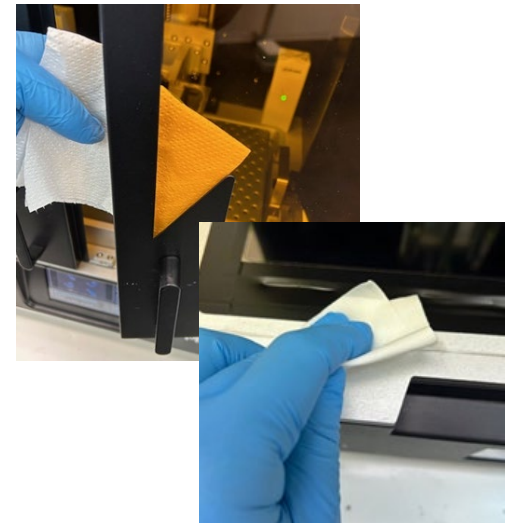
- ※ “レジンバット”固定ねじはしっかりと締めてください。



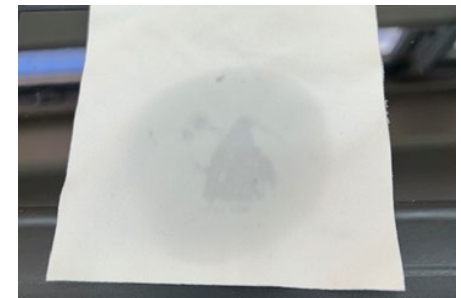
- ※ 本体、カバーにレジンが付着した場合は速やかに清掃をお願いいたします。
- ※ 時間が経過して、レジンが硬化した状態になりますと除去が困難になる恐れがあります。

▶ LCDパネル表面を擦らない様に注意してアルコール等で清掃します。

- ※ 拭き掃除の際、本体を振動させない様に注意してください。“レジンバット”内にレジンが残っている場合、こぼれる恐れがあります。



- ※ 表面にてレジンが固まってしまっている場合、アルコールを染みこませたキッチンペーパーを被せ、しばらく放置します。塊が溶けたら、レジンを除去してください。



iguazu

The logo for 'iguazu' features the word in a bold, lowercase, sans-serif font. A thick blue horizontal bar is positioned above the text, starting from the left and extending past the end of the word, where it curves downwards and to the right.